

宇宙測位技術の拡がり

移動体測量(MMS)インフラ計測・管理
 準天頂から高精度な補強信号を提供することにより、高精度な位置特定を実現。街づくり、インフラ整備/管理、鉄道管理、車両管理に活用。

鉄道管理・列車制御
 全線の車両位置を計測。踏切の位置、線路脇の限界領域

準天頂衛星

衛星測位課金システム (ロードプライジング)
 走行している車両をシームレスに計測し、走行距離、ルートにより課金するとともに課金情報、ルート別通行料、渋滞回避情報も提供。

情報化施工
 道路設計の情報をもとに、一般道、トンネル、街作りける現場で、工事車両の運用管理、および工事全般。鉱山における採掘、運搬作業では車両の自動運転に事故削減、経費削減を実現。雪原、積雪道路等ではた設備を避けて作業するよう車両を管理。

トンネル内・地下道路の計測
 トンネル内や地下道路等、測位できない場所は、INS複合技術による連続した測位を実現。移動体測量(MMS)のトンネル、地下道路管理計測により安全性向上を支援。

海洋管理
 海面の高さを計測し、センターに通報。津波、高波の予測、海洋火山観測、風速管理などのデータ作成を支援。

船舶
 船舶座標で、船

【具体事例】

- GPSなどのGNSS測位データから得られるPNT(測位、航法及びタイミング)を利用したサービスは、我々の生活のなかに深く浸透している。



GPS等の測位衛星は無くしてはならない 基本インフラとして確立されている。